

関西大学 高槻ミュージズキャンパス 公開講座

関西大学社会安全学部は、平成22年4月の開設以降、「安全・安心で質の高い生活のできる国」の実現に貢献する優れた人材を育成するため、自然災害と社会災害という二つの問題を中心に、最先端の教育・研究活動を展開しています。

本講座は、高槻市との地学連携事業における「安全・安心のまちづくりに関する協定」に基づく事業として、平成22年11月から開催し、社会安全学部専任教員による専門研究の視点と、実務担当者によるそれぞれの立場から問題提起しております。

今回は、身近な問題領域から三つのテーマを企画しました。多数の皆さまのお申し込みをお待ちしております。

第17回

平成26年

11月12日(水)

●総合テーマ

災害と雇用

人と防災未来センター 研究員

菅野 拓

「東日本大震災と被災者の生活再建支援」
～仙台市の官民協働の取組を中心に～

関西大学社会安全学部 准教授

永松 伸吾

「巨大災害における人間の安全保障」
～雇用対策を中心に～

第18回

平成26年

11月19日(水)

●総合テーマ

身近な環境を 見つめなおす

滋賀県立琵琶湖博物館 専門学芸員

大塚 泰介

「水田の生物多様性と多面的機能」

関西大学社会安全学部 教授

山川 栄樹

「生き物の盛衰を
数理的に科学する」

第19回

平成26年

11月26日(水)

●総合テーマ

災害に強い 地域づくり

特定非営利活動法人
レスキューストックヤード 代表理事

栗田 暢之

「災害ボランティア活動に学ぶ」

関西大学社会安全学部 教授

広瀬 幸雄

「どんな働きかけが
災害への対処を促すのか」

※事情により内容に変更が生じる場合があります。詳しくは裏面をご覧ください

各回定員
50名

会場：関西大学 高槻ミュージズキャンパス 西館3階 M303教室

時間：18:00～20:20(開場・受付17:00～)



関西大学 高槻ミュージズキャンパス 公開講座

11月12日(水) 18:00~20:20 ●総合テーマ **災害と雇用**

第17回

「東日本大震災と被災者の生活再建支援」 ～仙台市の官民協働の取組を中心に～

人と防災未来センター 研究員 **菅野 拓**

東日本大震災から約3年半が経ちますが、被災者の多くはいまだに仮設住宅で暮らしており生活再建は道半ばです。今でも多くの行政や民間支援団体が被災者の生活再建に寄り添い、様々な課題に取り組んでいます。報道だけでは見えてこない被災地の状況も踏まえ、主に仙台市を事例に被災者の生活再建への支援がどのように進んでいるのか、そこから学べることは何なのかについてお話しします。

「巨大災害における人間の安全保障」 ～雇用対策を中心に～

関西大学社会安全学部 准教授 **永松 伸吾**

東日本大震災直後には、多くの雇用が失われ、それが被災地からの人口流出の主要な原因の一つとなりました。雇用や生業の維持は、我々の生活を守る上で、災害対策の中心に据えられなければならない重要なテーマです。災害における雇用の問題を振り返るとともに、東日本大震災で生まれた新たな雇用創出の取り組みとその成果についてお話しします。

11月19日(水) 18:00~20:20 ●総合テーマ **身近な環境を見つめなおす**

第18回

「水田の生物多様性と多面的機能」

滋賀県立琵琶湖博物館 専門学芸員 **大塚 泰介**

水田に生息する生物は、これまでに知られているだけで5,000種を大きく上回っています。農事による周期的な環境変動が、多くの種の共存を可能にしています。水田で育つフナ仔稚魚は、湛水後に爆発的に増加する動物プランクトンを食べて急速に成長し、成長の過程で水田の様々な生物に直接間接の影響を及ぼします。本講座では、こうした生物多様性保全機能を含め、水田の様々な多面的機能を紹介します。

「生き物の盛衰を数理的に科学する」

関西大学社会安全学部 教授 **山川 栄樹**

自然環境の変動のなかで、時には大発生をし、時には絶滅の危機に見舞われながら、太古の昔から生きながらえてきた生き物たちの盛衰を、理路整然とした人工的な学問の代表格と思われがちな数学を用いてモデル化する試みについてお話しします。身近な生き物同士の生存競争から、感染症の広がりまで、数理的モデルを用いてどのような分析ができるかについて、考えてみたいと思います。

11月26日(水) 18:00~20:20 ●総合テーマ **災害に強い地域づくり**

第19回

「災害ボランティア活動に学ぶ」

特定非営利活動法人 レスキューストックヤード 代表理事 **栗田 暢之**

近い将来の発生が危惧されている南海トラフ巨大地震や首都直下型地震、そして今後も増加傾向にあると言われている水災害に備えて、東日本大震災や広島市土砂災害など全国で相次いだ災害へのボランティア活動を通して聴いた被災者の「生の声」などを紹介し、災害現場の実態を概説しながら、災害に強い人づくり、地域づくりのポイントを考えます。

「どんな働きかけが災害への対処を促すのか」

関西大学社会安全学部 教授 **広瀬 幸雄**

災害への備えはしなければいけないと思っても、実際にはできないことが多いです。どのような働きかけをすると、災害への準備行動を促すことができるのかを、環境心理学の知識を参考にしながらお話しします。釜石の奇跡と呼ばれた生徒の津波からの自主的避難行動がなぜできたのかについても、環境心理学の視点から解説します。

※事情により内容に変更が生じる場合があります。

申込み方法

関西大学高槻ミュージズキャンパス(ミュージズオフィス)

電話またはインターネット専用ページでお申込みください。

◎電話：072-684-4000 (平日/10:00~16:00)

◎「関西大学社会安全学部」ホームページの「公開講座(第17回~第19回)開催のお知らせ」からお申し込みください。

(URL) http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/

受付期間 10月10日(金)~11月7日(金) ※各回定員になり次第、申込み受付終了

受講料 各回500円(資料代として当日、受付にてお支払いください)

お願い ●車やバイクでのご来場はご遠慮願います。公共交通機関をご利用ください。
●キャンパス施設内は、全面禁煙です。ご協力をお願いいたします。

問合せ 関西大学 高槻ミュージズキャンパス
TEL:072-684-4000 [月~金9:00~17:00]

会場：関西大学高槻ミュージズキャンパス



JR高槻駅から徒歩約7分 阪急高槻市駅から徒歩約10分